

単元名 歌声ひびかせて

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 歌声や旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律や歌声のよさや楽しさを見い出してミュージカルの音楽を聴くことができる。
- (3) いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

04070103_001

【教材名】 プパポ（歌唱） 「サウンド オブ ミュージック」から（鑑賞） (P.12～P.15)

【準備等】 範唱CD、鑑賞CD、（映画「サウンド オブ ミュージック」の映像）、録音機器、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「プパポ」を、各パートの旋律の動きを捉え、聴き合いながら、響きのある伸びやかな声で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主旋律を歌詞唱する。 ★きき合いながら楽しく歌おう <ul style="list-style-type: none"> ・範唱に合わせて、歌詞唱をする。 ・歌詞を読み、内容を理解する。 ・リズムや音程に気を付けて歌う。 ・タイの意味を理解し、リズムを知る。 ・フレーズのまとまりを捉えて、主旋律を歌唱する。 ・丁寧に発音したり、声を遠くへ届ける意識で歌ったりして、響きのある声で歌う。 ○副次的旋律を歌詞唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・主旋律と副次的旋律の動きについて、楽譜を見て確認する。 ○パートで音程を確認しながら、歌声や強弱を意識して歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・音程が不安定なところは、部分的に取り出して練習する。 ・パートの関わり合い方を確認し、旋律が交互に動くところ、重なることを意識して、どのように歌いたいか考える。 ・パートを交替して歌ってみる。 ○二部合唱をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・互いに聴き合って歌う。 ・伴奏に合わせて、楽しく歌い合わせる。 <p>3～4 「サウンド オブ ミュージック」を、いろいろな声の響きや特徴を味わいながら聴き、ミュージカルを楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルについて知る。 ・「サウンド オブ ミュージック」の物語について知る。 ○学習課題をつかみ、「サウンド オブ ミュージック」を聴く。または映像を鑑賞しながら、楽しんで聴く。 ★いろいろな歌の表げんを楽しもう <ul style="list-style-type: none"> ・聴きながら、物語のイメージを膨らませる。 ・楽曲を聴いて、どんなイメージが浮かんだか出し合う ○「ドレミの歌」を聴き、楽しく歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・大人の女性の声と児童の声の響きの違いを感じながら聴く。 ・身体を動かしたり、指揮の動きをしながら歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不思議で可愛い「プパポ」の曲名に着目させて聴かせるとよい。 ・楽しい歌詞の内容や、歌詞が掛け合いになっていることに気付かせ、表現への意欲を高める。 <p>【新出】付点8分音符 16分音符 シャープ ナチュラル タイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にファ＃の音程に気を付けながら、丁寧に指導する。 ・音程を確認しながら歌い、不安定なところは部分的に取り出して繰り返し練習させる。 ・楽譜をもとに、各パートの旋律の動きや役割について理解させる。（楽譜にネコやサカナや青色がついているところ） ・聴き合って、響きのバランスを取らせる。 <p>【共通事項】音色 フレーズ 問いと答え 音の重なり</p> <p>【評】曲想と旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりを捉えながら歌う活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細かいリズムに合わせた発音の仕方や、フレーズを意識した響きのある歌い方を工夫し、伴奏に合わせて楽しく歌う。 ・客観的に聴くために、クラスを2つに分けて半分ずつ聴き合う活動を取り入れてもよい。 <p>【評】互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルは、歌や踊りを中心とした劇であることを伝える。 ・教科書の写真を参考にしてストーリーを説明する。 ・「エーデルワイス」は次の題材に生かせるため、聴かせておくもよい。 ・可能であれば、映像を鑑賞させながら、美しい自然の映像と心温まるストーリーに触れさせたい。 ・自然の雄大さ、家庭教師マリアの透き通った声の美しさを感じ取らせる。 ・映画の冒頭に演奏されるスケールの大きさを感ぜさせる楽曲である。 ・「ドレミの歌」は3年生で学習済みである。 <ul style="list-style-type: none"> ・マリアと子どもたちが一緒に楽しく歌っている様子を感じ取らせる。 ・マリアの声の響きの美しさや、子どもたちの明るい声の響きに耳を傾けさせる。 <p>【共通事項】音色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二拍子の曲である。

- 「ひとりぼっちのひつじかい」を聴く。
 - ・跳躍する旋律とヨーデルの独特な歌声を味わう。
 - ・斉唱や交互唱などで歌われる曲の面白さを感じ取って聴き、感じたことを交流する。

- 「わたしのお気に入り」を聴く。
 - ・軽やかなリズムを感じて、場面を想像しながら聴く。
 - ・音楽に合わせて口ずさみ、体を動かしてみる。

- 「エーデルワイス」を聴く。
 - ・3拍子を感じて、一緒に口ずさみながら聴く。
 - ・旋律の流れや男声の響きの雰囲気を感じ取り、感じたことを交流する。

- ・児童に子どもたちの役になりきらせ、「ド」「レ」「ミ」の掛け声をさせたり、マリアに続いて歌わせたりしてもよい。

- 【評】歌声や旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら聴く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。
- ・マリアと子どもたちが、人形を操りながら歌う場面の楽曲である。
 - ・ヨーデルとは「レイオー」の部分の歌い方で胸声と裏声（ファルセット）が激しく交代する歌い方である。この歌い方によって、軽快さと楽しさをかもし出している。
 - ・手拍子をすることで、軽快さが感じ取れる。

【共通事項】旋律

- ・雷雨の激しい夜に、おびえる子どもたちを励ますため、マリアが「怖い時や悲しい時は、お気に入りの物をいくつも思い浮かべて元気になろう」と軽やかな音楽にのせて歌う心温まる楽曲である。
 - ・左右に体を揺らしながら、軽快な3拍子を感じ取らせる。
 - ・お気に入りの物を児童のお気に入りの物に置き換えて歌ってもよい。
- 【評】いろいろな歌声を聴く活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】